

2020年5月20日（水曜日）

日本版ニューディール政策の推進を

19日の参議院国土交通委員会で自民党の足立敏之参院議員は、新型コロナウイルス感染症の収束段階での経済対策について質問した＝写真。民間投資の減少が見込まれることから、「世界大恐慌並みの大きなダメージを受ける可能性も考えられる」とし、「災害に強く、生産性の高い活力ある国土につくり替えていく、いわゆる“日本版ニューディール政策”を進める必要がある」と提案した。

答弁に立った赤羽一嘉国土交通相は、「経済の状況は極めて

足立参院議員



深刻で、これからより深刻な状況が続くのではないかと懸念している。そうした意味で、状況が落ち着き次第、間髪を入れず、経済対策を取るということは委員がおっしゃるとおり」と提案に同調。加えて、「今回の新型コロナウイルス感染症はある意味、時代のパラダイムシフトだ。この後に社会のあり方、生活のあり方、経済のあり方は変化を余儀なくされる。その中で今後、インフラ整備をどうしていくかということは議論されなければならない」との認識を示した。

建設
通信
新聞